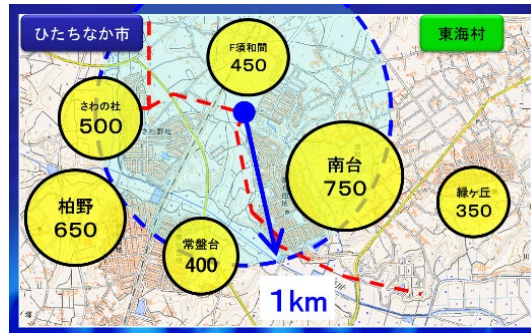


住民の疑問：須和間地区には何故スーパーがないの？



須和間は 3,000 戸の経済圏なのに・・・

東海村の南部に位置する須和間地区は、フローレスタ須和間団地を抜ける 1 級村道 0103 号線（小松原笠内線）の全面開通により、右図のような巨大な経済圏を成しておりますが、住民の生活に必要なスーパーマーケットがありません。

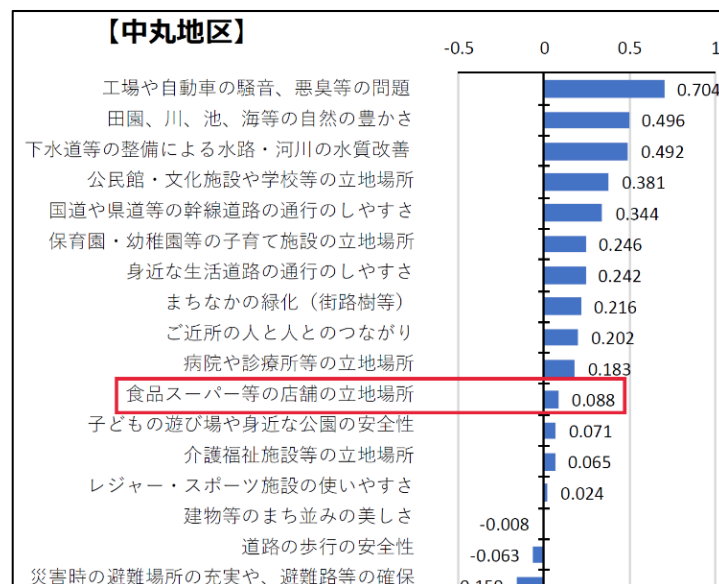
これは、平成 15 年に策定された東海村都市計画マスタープランと、令和 2 年に改訂された同プランの土地の利用制限が関係しております。須和間地区

は、都市開発の制限を受ける市街化調整区域であり、スーパーマーケットなどの比較的大きな小売店舗の建設が本来許可され難い地域。しかし、東日本大震災以降多くの住民がフローレスタ須和間団地を中心として、須和間地区に住宅を設けておりますことから、本村に移り住んで来られる方々もとても多く、「**選ばれるまち**」として**住民の利便性に鑑みた本村の柔軟な対応**が急務となっております。

今から 5 年前の平成 29 年度に行われた、住民の日常生活やまちづくりに関するアンケートのうち生活環境の満足度では、須和間地区が学区単位の中丸地区に含まれた関係なのか「食品・スーパー等の店舗の立地場所」として**満足側に 0.088 ポイント**が付いて、現状の実態とは全く合わない結果になっております。（右下のグラフ参照）

この改定マスタープランでは、「本計画は今後の社会動向や法改正、住民ニーズの変化など、まちづくりの方向性に大きな変化が生じた場合には、**必要に応じて適宜見直しを図るものとする**」と明記されておりますので、何よりも住民の声に沿ってタイムリーな計画の変更を求めて参ります。

東海村は、何事も素早く対応できるコンパクトシティが本来の持ち味です。都市計画の変更や部分的な見直しは実のところ容易な仕事ではありませんが、如何に対策し住民の声に応えようとするのか、引き続き注視しつつ対応を促して参ります。



ひととき 東海駅東 アイヴィル 1 階



まちのホットステーション
ひととき

「東海駅の駅西は結構お茶や食事できますが、駅東はちょっと寂しいなあ」と言っているうちに、彗星のように現れた東海駅東口の産業情報プラザ アイヴィルの 1 階にあるカフェ「ひととき」。シルバー人材センターが運営するこのカフェは、「持続可能な街づくり」を垣間見ることができる心温まる空間を提供。

昭和の喫茶店を彷彿させるような「まちのホットステーション」になってほしいと思うのは私だけでしょうか。住民の生活が多様化するなかで、色々な方々が気軽に立ち寄ることができる場所が、村内に数カ所できることを期待しております。

この村政報告書は、営利や勧誘を目的としたチラシ、ダイレクトメールではありません。

みなみ風

Minamikaze Vol. 9

東海村議会議員 みかみ修後援会村政報告 2022 年秋号
☎: 090-1837-3989 e-mail: mikami_osamu@nifty.ne.jp



みかみ修
フェイスブック



トピックス

1. **一般会計・特別会計：令和4年度補正予算を可決、令和3年度決算を認定**
2. **原発問題自分ごと化会議を継承する「タウンミーティング」を開催**
3. **一般質問 避難計画、自治会問題、農業振興、東海村経営評価**
【特集】：須和間地区には、なぜスーパーマーケットがないの？
【連載】：エネルギー・アイ みんなの電気 第7回
え〜っ、聞いてないよお〜?? 「再エネ賦課金」

みかみ修の議会一般質問

皆様の議会傍聴を心からお待ちしております！

- ・東海村民の避難口「常磐道 東海スマート IC」付近を再開発して防災公園を



村民が有事の際に広域避難するとき、どの地区の住民が、どこの IC を使って、どこに避難するのか、村の「広域避難経路図」（左図）に示されています。（スマホのカメラで左の QR コードを読み取ると地図が出ます）

避難の際には多くの村民が、常磐道の東海スマート IC を使って避難しますので、IC の入口付近を再開発して平坦な防災公園を作り、広域避難時は大量の車両を一時的に寄せ混雑を緩和する自動車プール必要性を訴え、設置を要望しました。

- ・東海村の価値を高める自治会再興の対策は「自主防災組織」を骨幹として

東海村は原子力施設立地地域であるが故、自治会活動は極めて重要。「身近な問題を解決する住民組織」と規定される自治会の責務は重く、その再興は東京都などで成果を上げている自主防災組織を骨幹として進めることが望ましいと提案。詳細は「東海村議会だより 50 号」をご参照ください。

- ・東海村の農業振興策として「海外農業実習生」の受け入れを

本村でも休耕地が散見されているが、ロシアのウクライナ侵攻以来、食料自給率からも農業の振興は重要。実習生を受け入れたいが農家個人では、手続きや管理が難しく手が出ません。本村の対応を促しました。次ページの解説参照。

- ・東海村第 6 次総合計画の折り返し点の評価は？

2020 年から 2024 年までの東海村の運営方針を定める第 6 次総合計画の制定時、予想だになかった新型コロナウイルス感染症の蔓延やロシアのウクライナ侵攻が、計画の推進に影響の有無を確認、「主たる計画に変更はないが、今後の情勢に応じてきめ細かく対応する」との方針を確認しました。



みかみ修は、マスクとタブレットで一般質問

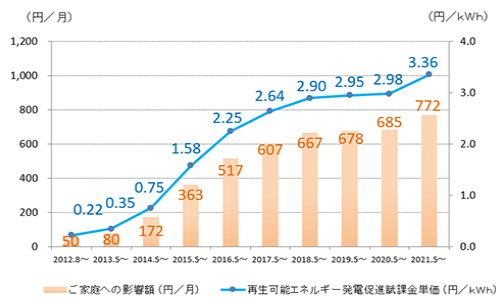


第7回 え〜っ、聞いてないよお〜?? 「再エネ賦課金」

電気代がどんどん高くなって、家計を圧迫しています。家計はもとより企業の経営も圧迫して、日本の国際競争力は低下の一途を辿る有様。これに、最近の急激な円安傾向が拍車を掛けています。私たちが支払っている電気代は、①基本料金、②電力量料金および③再生エネルギー発電促進賦課金：通称「再エネ賦課金」で構成されています。

電力会社は、発電コストが高い再生可能エネルギーを一定期間買い取ることが義務付けられていて、電気消費者の私たちが太陽光発電のコストの一部をいつの間にか負担させられているのです。一方で、再生可能エネルギーは気まぐれな発電、太陽が出ず風のないときにはどうしても火力発電のように、出力の調整が可能な発電によって穴埋めするしかないのです。今のところ、再生可能エネルギー発電を進めるほど、更に火力発電が必要となる皮肉な状態。

火力発電の燃料は殆ど輸入に頼っていて有事には調達が難しい、平時でも円安になるとコスト高となる、正に国家存亡の危機を迎えているのです。



再エネ賦課金が上昇して家計を圧迫

ウクライナの教訓、それは何事もミックスで危機を回避すること

ウクライナのロシア侵攻問題は、図らずも私たちに多くの教訓を与えてくれました。残念ながら日本は資源の乏しい国、資源国の制御を受け続け高価な資源を買い続けることになるかも知れませんし、資源自体が手に入らなくなるかも。電気代は今後も上昇を続けることも予想されますが、日本には国民性に裏付けられた優位技術があります。



電事連の新 CM

東日本大震災の教訓を生かした電力技術は、更なる安全性や経済性を高めながら、日本と世界の発展に寄与し続けることができます。エネルギー危の機回避には、水力、火力、原子力、そして再エネを安全にバランスよく運転することが、今からとても重要な視点。電力のあるべき姿を考えつつ、日本と地球の未来に思いを寄せて参ります。

【寄稿】みかみ修って、どんな人 その5

猛暑が続いた7月末に所用で日立にある某ホテルに出かけた折、ロビーで三上議員とバッタリ逢いまして、「何ですか今日は」と尋ねましたら、「このホテルで見合いをさせるので、2人と待ち合わせです」と。

「見合い」という言葉はもはや死語になったと思っていたら、なんと三上さん今年は2回目の段取りで、1回目は上手くいき結婚までこぎつけたとの事でした。

結婚相手を見つけるには、職場の先輩や上司、地域の世話好きな人がいて、見合いが成立し結婚することもよくみられた。しかし、個人情報保護法が施行されたことにより世話好きの人も他人の生活領域には入り難くなり、お見合いそのものが難しくなっているが、それでも世話役を買って出る三上さんに頭が下がります。三上議員は議会と会社の掛け持ちで超多忙のなかでも、高齢者や1人暮らしの方のコロナワクチン接種の予約や病院まで送迎するなど、地域の人々の世話役を買って出る姿勢とバイタリティに改めて感服した次第です。(R)



議員は身近なマッチングアプリ

一般質問解説：東海村の農業再興には外国人実習生の受け入れが必要

東海村の農地には、休耕地が随分目立ち始めました。ロシアのウクライナ侵攻により、食料自給率確保の重要性が再認識される中、休耕地の増加は農業の担い手不足が直接的な原因になっています。一方、茨城県の南部では、外国人技能実習制度を活用した農業が盛んに展開されておりましてその成果は顕著、本村の農家でも実習生の需要は相当数あると予想、事実ある農家は「農業実習生の働き振りはとても素晴らしく、魅力的」と話しておられますし、本村で受入組合やNPOを計画する団体の動きもあります。



東海村の米は日本一
撮影：亀下地区

現行の技能実習制度には様々な課題が存在し、また、農家が個人で外国技能実習生を採用したくても、雇用契約を締結し実習を管理することはなかなか難しい。今後、需要が増すだろう外国人技能実習生の受け入れに対して、村がどのように関与し対応していくのかを確認しながら、東海村の農業振興を訴えました。東海村には実習生が必要とする空き家という資源もあり、実習生の足となる地域公共交通も整備され、生活に必要な施設もありますので、外国人実習生が安心して働くことができる環境は整っています。

元駐在員が教える台湾の名店・名所 その七

台北桃園国際空港から入国して、高速道路で台北に向かうと左手に見える巨大なホテルが「圓山大飯店」(右写真)。真紅の大楼は当時の国威をかけて建設され、今でも多くの国賓をお招きしております。台北に駐在して3か月も経ち、そこそこ海外生活にも慣れて来た駐在員は、日本から駐在員激励の大義名分で来る人たちをお招きし、このホテルでお茶や会食の場としました。このホテル、一種の国家的財産の体を成し、ロビーも素晴らしい美術館級の空間です。



台北圓山大飯店



台北には茨城空港から信頼の翼タイガーエアーで



ホテルの金龍餐廳というレストランは素晴らしく、台北松山空港を離着陸する飛行機を眺めながら、飲茶(ヤムチャ)と熱燗の紹興酒に舌鼓。台湾の入国再開が待たれます。

Tokai ダンスフェスが示した東海村の新たな可能性

9月3日(土)に東海駅東口イーオン東海店前の駐車場で開催されたTokai ダンスフェス(東海村観光協会 川崎敏秀会長主催 通称:Bin Fes)が盛大に開催されました。新型コロナウイルスの蔓延で、長らく色々なイベントが中止される中、東海村で盛んなフラダンス教室の方々の演技披露の機会を作りながら、東海村の新たな可能性を模索しようとするものです。因みに私は、イーオン東海店前の交差点で一日中交差点警備。(涙)

昼間は、キッチンカーが勢揃いした会場で、多くのフラダンサーが日頃の努力を重ねた演技を披露、夜は秀逸なボーカルでひと際冴えるジャズの演奏。

行政主導ではなく、多くの民間の賛同者が立場を超えて力を合わせながらの手作りフェスタは、東海村の新たな可能性を饒舌に語りかけるようでした。



東海村はフラダンスのまち